

◇常任委員長だより 図書 啓展

寒さが続く中、学年のまともに向けて、熱い毎日を過ごされていることでしょうか。加えて、学力研は春の準備で熱くなっています。

●学級づくり・授業づくりスタート講座 in 安城：三月二十六日

(日)安城市民会館・久保、岡、岡本、岸本がお世話になります。

●学級びらき講座：四月一日(土)

エルおおさか・久保、川崎、岡本、荒井。四月八日(土)神戸市勤労会館・深沢、門脇、井上。四月九日(日)レディヤン春日井・深沢英雄で盛り上げます。京都、東日本でも検討中です。

●久保校長は二月もバリバリやっています。恒例の「先生のための学校」二月十一日(土)のほか、二月五日(日)大分県教育会館、二月二十五日(土)春日井総合福祉センターです。

●地域のサークルも活動しています。覗いてください。「学力研の広場」のカレンダーやホームページをぜひチェックしてください。

◇千人プロジェクトだより 岡 篤

●合同例会の位置づけ

学力研のメインイベントは8月の全国フォーラムです。千人プロジェクトの千人は、この全国フォーラムで参加者千人を指そうというものです。

そのためには、様々な取り組みを継続的に行っています。合同例会もその一つです。きちんとテーマを設定し、講師を依頼したり、レポーターを決めたりして運営するセミナーとちがいで、希望者が自由なテーマで気軽に実践報告やレポートをしようというものです。

普段、サークルに参加されている方は、メンバーが異なるだけと、思っていただけではないでしょう。報告を初めて聞く人がいたり、自分にはない視点からの意見を交換できたり、刺激になることはまちがいありません。

今年度は、まず、6月行います。まとまった実践で無くてかまいません。今、やっていること、思っていることを出してみませんか。

◇組織局だより 岡本 美穂

●青年部の活動

2月の「先生のための学校」の午前中に第2回「ストツプモーション講座」を行うことになりました。前回10名限定で募集をしたところ、すぐに予約が埋まってしまいました。テーマは「ビデオをとめて授業の腕をあげよう」です。私の学級の授業の様子を最初から参加者と一緒に見ます。その際、気になることがあれば、「ストツプ」と言って止めてもらいます。

・ 発問「なぜ、この問いにしたのか？」

・ 指示「これは何を意味しているのか？」

・ 子どもの発言

・ 子どもたちの発言

・ 板書

・ 子どもの様子を、参加者の様々な視点で見合うことにより、全員が得をする会となります。授業を見ることで、学級づくり、学級づくりの土台がすべて見えてくるからです。参加者の満足度は非常に高く、やはり「授業」で子どもを伸ばすことが大切だと改めて学びました。このような会を青年部中心にまた企画していきます。

◇学力研最新情報 岸本ひとみ

●こんなお便りが届きました

「授業参観の内容がはつきりと決まっていけないのでタイムリーな記事でした。『子ども達の努力の跡がわかるとき、クラスで一丸となつて取り組んでいることがわかるとき』このフレーズがずっとしりきりきり。この視点で参観の内容を考えていこうと思います。」1月号の広場に対する感想です。これは書き手にとって、励みになります。ありがとうございます。

また、続けて『計算ずもう』の資料がほしいのですが。」という連絡が入りました。さっそくメールアドレスをお聞きして、資料を添付して送りました。

事務局は学力研の連絡用窓口になっています。広場を読んで下さっている方から、こんなお便りや連絡があると、少しは実践の役に立てることがわかって、とても励みになります。会員の方には、Yahooのフリーアドレスから連絡していたできるようになっています。携帯からでもどうぞ。メール本文にご自分のお名前を入れて下さることを、お忘れなく。